

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日 ~ 2025年 12月 27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	43
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日 ~ 2025年 12月 27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 27日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動支援を強みにしています。週2回勤務していたただく理学療法士のもと、正社員もスキルを高めて支援の質につなげています。特にパルクールの支援などを通して、児童の基礎運動能力向上を図っています。 ・延長支援でお預かりをしている児童に対して、定期的に少人数だからできる社会自立を目指した習い事支援を行っています。	・他の事業所にはない魅力として、パルクールの国際指導資格を持った職員によるパルクール支援や書道の有段者による書道教室、5年以上の保育士による基礎的な身辺自立の支援など、多彩な職員たちによる工夫した支援を提供しています。具体的には、少人数のパルクール教室や書道教室など、卒業を目指した習い事支援を行っています。日々の支援では、保育の観点や心理の専門性を基に、一人ひとりの発達段階や困り感を分析し、常に少し上を目指せる支援や働きかけを行っています。学校や座学では難しい戸外での経験(買い物や公共施設など)や本物体験を取り入れることで、社会自立に向けた支援に力を入れています。	・社会福祉士を筆頭に、外部機関との連携を図りSOALAを卒業していくお子様が安心して地域の社会資源や習い事を利用できるようにしていきます。
2	・20代の職員が多いため、お子様の元気さや活発さに負けない体力のある事業所である点です。 ・上記に合わせて、それぞれの職員が連携をして支援を提供しています。提供時も多くの職員が支援の現場に入るため、一人ひとりのお子様に対して手厚い支援を提供することができています。	・会社が実施している階層別研修を通じて徹底して磨き上げた「会話力・傾聴力・発信力」といった社会力を土台に、一人ひとりが持つ専門性を最大限に発揮。保護者様の悩みや不安に真摯に耳を傾け、決して経験の若さを感じさせない、丁寧で柔軟な発想と、研修で培った確かな対話スキル、そしてチームの組織力を掛け合わせることで、安心してお子様が通える環境になっています。	・保護者様だけでなく、今後連携していく関係機関にもこれらのスキルを活かしていくようになります。
3	・利用児童が多く、年齢にも幅があることを生かした縦割りの活動や集団生活の経験を通じて、コミュニケーション能力や社会性を育むことができる点です。	・活動の際の各グループの人数（ペアやグループなど）や学年の組み合わせ（同学年や縦割りなど）を工夫することによって、同じ活動であっても目的に応じて活動の形式を柔軟に変えている点です。	・グループ別に異なる活動を行ったり、グループ間での意見交流の機会を設けたりすることによって、より目的を効果的に達成することができるようになります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・定員数が他の放課後等デイサービスよりも多いため、大人数の集団が苦手なお子様が環境的に適応する難しさがあります。	・施設内の部屋や設備を十分に活かしてきていないことが要因にあると思います。	・定期的な模様替えは実施していますが、これまで以上に構造化された環境設定を意識して模様替えを実施していきます。
2			
3			